

☆ 欧 州

**化繊原料**

**Lenzing、溶解パルプに1億ユーロ投資へ**

Lenzing Group は、オーストリアの Lenzing 社とチェコの Paskov 社の生産拠点で、既存の溶解パルプ (DP) 生産の拡大、新鋭化を進める。

Lenzing グループは総額 10 億ユーロに上る投資プログラムを発表、このうちおよそ 6 億ユーロが Lenzing 社に、4 億ユーロが Paskov 社に投下される。今後 2 年半以内に約 3.5 万トンの生産能力増強を図る。

同社はこの投資により、新たに設定した企業戦略である『sCore TEN』の展開を加速する。同社はセルロース繊維用の DP 自給率を 2019 年までに現状の 56% から 75% に引き上げる計画である。同社は、「バイオリファイナリー」システムの最新化と拡大により、最も持続性の高い繊維メーカーとしての地位を強化していくとしている。

Lenzing グループによると、「バイオリファイナリー」の基本的なコンセプトは、承認された中西部ヨーロッパ諸国産の木材のみを使用することとしている。ファイバー、バイオケミカル、バイオエネルギーの生産に木材成分を 100% 使用して、CO<sub>2</sub> と太陽光を高価値のファイバーに転換するのは Lenzing グループの使命の中でも重要な部分である。セルロース繊維の品質の高さは、原料の DP のクオリティで決まる。このため、今回の投資は Lenzing グループの品質戦略にも重要なものだとしている。

2016 年 8 月、Lenzing グループはスペシャルティ繊維の生産能力拡大を発表。2018 年半ばまでに年産 3.5 万トンを増強する。プロジェクトの一環として、約 7,000 万ユーロをオーストリア Heiligenkreuz 工場に、3,000 万ユーロをオーストリア Lenzing 工場に投じる。こうした投資に加えて、今回のパルプ投資の新プログラムが実施される。

これらの投資は、Lenzing Group がオーストリアの生産拠点に対する長期的なコミットメントを表している。今後 2 年半の間に Lenzing グループは総額 1 億 6,000 万ドルを同国に投じる予定である。同グループは、これにより再びオーストリア最大級の産業投資家となる。

**繊維政策**

**Textile ETP、戦略的イノベーション・研究アジェンダを発表**

Textile ETP が 10 月 12～13 日、ベルギー Brussels で、“European Textiles - going digital, going high-tech”をテーマとする大会を開催。24 カ国から 150 名が参加した。

大会のハイライトは、戦略的イノベーション・研究アジェンダ (Strategic Innovation and Research Agenda (SIRA)) の発表。SIRA は欧州繊維産業の今後 10 年の姿を形づける、主要なイノベーションテーマおよび優先的な研究開発テーマを記している。

欧州の 100 人を超す繊維業界、繊維技術・研究開発の専門家により検討されたものである。

報告書は「繊維産業の第4次産業革命に向けて (Towards a 4th Industrial Revolution of Textiles and Clothing)」と題され、①技術トレンド (デジタル化、オートメ化など)、②市場トレンド (テクニカルテキスタイル用途の成長、持続可能なファッションへのニーズ拡大など)、③新しいビジネスモデル (循環・シェアリング型経済、パーソナライズ製品など) の融合こそが、より知識集約型となる欧州繊維産業の新たなベースとなり、それが成長と収益性をもたらすことを確信的に強調している。

会議の席上、欧州委員会の代表から、詳細な政策と支援プログラムの報告があった。主な内容は以下の通りである。

- ・素材、製造技術、デジタル化や新たなビジネスモデルに関する研究開発に対する支援
- ・人材育成の強化に対する支援
- ・クラスター (繊維産地) への投資促進、地域レベルのイノベーションサポート体制に対する支援

Textile ETP は European Technology Platform for the Future of Textiles and Clothing の略で、欧州繊維産業の研究開発を支援し、EU 繊維産業の競争力強化を目的に、2005 年に設立された。当時、3 つの長期重点項目のもと、9 つの重点研究テーマを設定した、EU 全域にわたる共同研究開発を進める「2020 年ビジョン」を策定した。